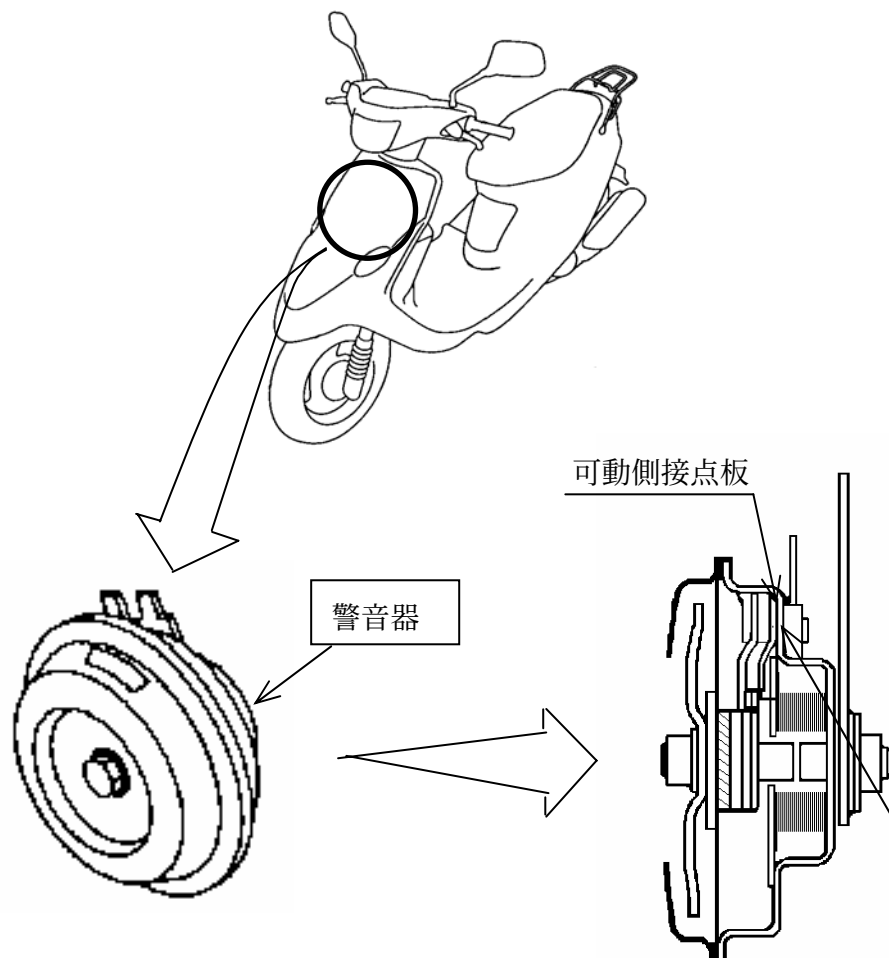


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

警音器内部の可動側接点板の加工不良により、当該接点板の形状が不適切なものがあるため、そのまま使用を続けると、当該接点板に亀裂が発生し、警音器が鳴らなくなるおそれがある。

改善の内容： 全車両、警音器を良品と交換する。

識別：警音器中心部のボルトの頭部に白ペイントを塗布する。

注： は交換部品を示す。